

怒りの声

青年のがんばりを 踏みしめるな

怒りの声を橋下知事に届けましよう。
(枚方・日高史代)

知事は職場の声を 受け止めよ

でのわれわれの意見、職場の声を受け止め、誠実に回答すべきです。
(泉大津・渡辺美佐)

退職後の生活に 大きな支障



非常勤職員の解雇撤回を橋下知事に迫る組合員

弱者に犠牲を 強いるな

知事の仕事は、府民の生活を守る事です。弱者を

に犠牲を強いて、強い者に何も言えない。知事は、「高校生に笑顔」と立ち

関西財界が笑う、橋下「改革」

教職員をないがしろにする人件費削減

教職員の誇りを奪つな

渦巻く職場の怒り

非常勤職員の解雇は、最悪の弱い者いじめ

教育をわじりわじりして破壊するな

忙しい毎日でも青年が学校でがんばっているのは、やっぱり子どもが大好きだからです。知事は団体交渉のなかで、「若い先生にがんばってもらいたい」と発言したようです。大阪の教育を切り捨て、教員をさげすむ政策のなかで、青年に対して「がんばれ」と言うのでしょか。「行革」の名のもと、子どもの未来まで犠牲にするつもりでしょうか。この怒りは黙っていてはもたない。みんなの

仕事に見合う給料と子ども笑顔があるというものが私奉公じゃないぞ。昨夜の雨のなか、泉大津の若手から年輩まで21名が、ずぶぬれになりながら声をあげました。橋下知事は団体交渉のなかで、「財政再建案について府民の代表である議会で議論したい」と言い放ちました。労使協議を無視する発言です。「府民の声を聞く」と言いつつ、団交

赤字財政の負担を府民に押しつけるのは本末転倒です。削減すべきところは他にあり。眞面の森の開発やダム、高速道路などム

突っ走り、府民生活と教育を破壊する橋下府政は、全く許すことができません。
(門真・北澤照久)

大阪府の赤字の原因はわれわれ教職員の責任ではなく、ムダな公共事業や同和行政に税金をつぎ込んできた、行政や議会の責任だと思います。橋下知事は過去の知事が実施したことだから自分は関係ないなどというのでしょか。過去に賃金カット、昇給停止が実施され、青年教職員の生涯賃金が退職金も含めて2千万円の損になると当時聞きま

な。大阪の文化の灯を消して、御堂筋のライトアップなんてやねん！
(堺・加藤恭子)

いままそ組合に団結、たたかおう

青年の生活脅かす 人件費削減

7月府議会へ、これから勝負だ

このように職場の声を府民に託された教職員の声です。



か開かれた6月20日の集会には、疲れた体を励まして予想をこえる組合員の参加の廃止で仕事を奪うな！との訴えは本当に心に沁みました。私の職場でも不登校や不登校の子どもの別室指導等をしていただいている非常勤職員の方々と力を合わせ、ぎりぎりの所で子どもたちの教育を保障しています。財政破綻までも至らないのに「破産会社同様」との過激な言葉を連発して、「1100億削減」という数値目標だけで

文化の灯を消し、御堂筋のライトアップなんてやねん
(市障教・江口昌史)

教職員全員の「一言メッセージ」が集まる職場が生まれるなど、職場は橋下「行革」に対する怒りでいっぱい。特に、教務事務補助等の非常勤職員350名の首切りは許せません。1人あたりの給与は年間たったの約100万円、予算として5億円です。団体交渉で非常勤職員の方が「御堂筋のイルミネーションより私たち350人の首

の方が下と言ったことですね」と詰め寄りました。これに対し「そういうことで」と言い放った橋下知事。絶対許すことができません。いままそ組合に団結してたたかおう！この大切さを感じます。
(泉南・亀谷義富)

半疑でした。年々厳しくなる教育現場で、精神疾患が増え続けています。青年は身も心もぎりぎりの状態がはびこっています。今回の人件費削減は、昨年度のわずかなベースアップを帳消しにするだけでなく、青年の生活を脅かすものです。橋下知事は、痛みを被る側の立場に立つべきです。
(堺・菱沼敬)

「机上の空論の『教育改革』にうんざり。人件費カットも教職員のやる気を奪います。これでは教育の質の低下を招きます」予算

削減が一番簡単なのが、人件費のカット。橋下さんには策がないのと同じです。私たちが毎日どれだけ超過勤務しているのか、知事はご存じですか？「いつ倒れてもおかしくないようなハードな毎日です。教員の数が絶対的に足りないです。教育現場をないがしろにする

このように職場の声を府民に託された教職員の声です。世論にまで高め、橋下「行革」を撤回させるため全力でたたかいます。
(南河内・藤川真人)

